

## Windows 11の開放に伴う講座運営について

令和3年10月8日

講座総括担当(鎌田)

### 1. Windows 11とは

すでにご存じのとおりこの10月5日に Microsoft 社から「Windows 11」の開放がありました。これまでマイクロソフト社は、「Windows 10 は最後の Windows」と言っていたところですが、なぜ Windows 11の開放に至ったのでしょうか。6月24日に「Windows 11」を発表があり、それ以降下記の通り様々な Web サイトで情報が提供されています。多くの Web サイトを閲覧しましたが、主な Web ページを時系列順に並べると次のようになります。

- ① [「Windows 10 は最後の Windows」という話は何だったのか - CIO ニュース:CIO Magazine \(nikkeibp.co.jp\)](#) ⇒ 6月23日
- ② [Windows 10 はなぜ最後じゃなかった?次世代の「Windows 11」がリリースされた理由 - CNET Japan](#) ⇒ 6月25日
- ③ [なぜ?Windows11 のリリースは嘘つき!裏切り者!とネットで叩かれているのか \(xsrv.jp\)](#) ⇒ 7月11日
- ④ [「Windows 11」が正式リリース ~対応デバイスへ無償アップグレードを順次提供 - 窓の杜 \(impress.co.jp\)](#) ⇒ 10月5日
- ⑤ [セキュリティが強化される「Windows 11」では、古い PC のユーザーが“置き去り”にされるかもしれない | WIRED.jp](#) ⇒ 10月5日

これらの Web ページを見てみると、③項の Web サイトが端的に「Windows 11」の開放理由を次のように整理されています。

#### Windows11が発表された3つの裏の理由

- ♥ パソコン販売促進のプロモーション。
- ♥ セキュリティ強化を行いたかった。
- ♥ Appleへの対抗とけん制。

それぞれの理由については、③項の Web サイトで確認を頂ければ良いですが、我々に一番影響があるのが「セキュリティ強化を行いたかった。」であり、筆者は次の様に説明をしています。

---

次に、セキュリティの強化を行いたかったから、Windows11にしたという理由です。

Windows のアップグレードを行う理由の1つとして、既存のバージョンでは対応できないほどのセキュリティ的な問題があるから、バージョンを上げてアップグレードするという側面があります。

今回の Windows11 で、ネット上で話題になっている Windows11 のアップグレードの最低要件ってご存知ですか？

**そう!TPM2.0 が無いと Windows11 にアップグレードできない件です。**

TPM2.0 って、暗号化などセキュリティ機能を強化するチップになります。

なぜ、セキュリティを強化されている端末でしか Windows11 が使用できないのか。

以下省略

---

すなわち2016年7月28日以降に出荷されたプリインストール機では「TPM 2.0」の搭載が原則として必須であり搭載されています。また、それ以前のパソコンには「TPM 1.5」のチップが搭載されているパソコンもあります。「TPM2.0」が搭載されていないパソコンでは Windows 11 の Update ができないことであり、Microsoft 社はインテル Core 第8世代以降のパソコンに対してのみ Windows 10 から Windows 11 へ Update の無償提供がなされます。

なお、Core 第7世代以前のパソコンは、Microsoft 社は2025年秋まで Windows 10 のまま使用するように推奨しています。それ以降もパソコンは使用できるかと思いますが、セキュリティの更新がされない等サポートが終了するために使用は避けた方がよいでしょう。また、Core 第6世代パソコンの発売時期は2015年8月であり、すでに6年を経過しており一般的なパソコンの使用年数を超えています。2025年には10年以上経過をすることとなり、Microsoft 社もそのあたりを判断したのでしょう。

上記以外にも多くの Web サイトを見ましたが、Microsoft 社の Web ページが突如消えるとかの事象もあり、また、ある Web サイトでは今年度末での Windows 11 に移行するユーザーは 2 割未満ではないかと予想されており、今後のマイクロソフト社の動向を注視したいと思います。

## 2. 受講生のパソコン状況

Windows 10 と同様に Windows 11 の Update ができると思い、少しのんびりと構えたいたところですが、10月に入って初めて問題として把握しました。対策を考える時、現状把握が一番必要と思い、別紙の文書で、すぐに受講生のパソコン状況の調査を行いました。その結果は次の通りです。なお Update 不可にはCPUの種類不明のものも含まれます。

番号	講座名	Update 可能	Update 不可	合計
1	檀原教室研修科1	2	7	9
2	檀原教室研修科2	3	9	12
3	宇陀教室研修科1	3	7	10
4	宇陀教室研修科2	5	7	12
5	香芝教室応用科	5	5	10
6	香芝教室研修科	4	9	13
7	相談サロン	5	15	20
8	本会会員	10	8	18
	合計	37	67	104

### 3. 講座運営について

本会の講座運営の基本は、ハードウェアは受講生のお持ちのパソコンを尊重してCPUの種類は問わず、ソフトウェアは最新のものを使用することとして、Windows更新の都度、受講生のパソコンの環境の整備をしてきたところです。現在は、Windows10でOffice2019を基本としていますが、Windows11の更新の際には、1項及び2項からすると、基本事項の継続は断念せざるを得ません。

具体的には、Windows11の更新は、これまでと同様に「設定」⇒「Windows Update」で行われますから、更新可能な受講生のパソコンは、これまで Windows 更新の際一斉に行っていた「手動更新」は行わず、「設定」画面の表示を待って、Windows11の整備を行います。ただし、関連する講座が開始するまでに整備が終えていないパソコンは「手動更新」をして講座に備えます。一方、Update不可の受講生のパソコンは、次項で述べる通り何らかの裏技を使用して救済を試みて関連講座の開始まで整備をします。裏技でも救済できないパソコンはWindows10のままとします。

講座には、Windows10と Windows11についてそれぞれ説明をしますが、講座進捗においては受講生の混乱は避けられないところです。具体的に影響がある講座は、「Windows 基本操作」の「第5章 ファイル管理」「第6章 Windows の設定」及び「第7章 Windows のアプリ」です。講座実施に際しては今一度、テキスト及び講座のおすすめ方については見直しをしますが、基本的には、Windows10の受講生は昨年度のテキストを使用し、Windows11の受講生は今年度のテキストを使用して講座を進めます。なお、問題の多い講座ですから、「第5章 ファイル管理」を含めて、講師は講座総括が担当します。

#### 4. パソコン救済について

これまで Windows 更改ごとに Windows の新規インストールを行うなど、受講生のパソコンの環境整備を行ってきたところですが、今回の Windows 11 の更改に際しても下記の Web サイト等を参考にツールを作成して、出来る限り受講生のパソコンの図りたいと思います。

- ① [ハードウェア要件を満たさない環境でも Windows 11 へのアップグレードを可能にするスクリプト | スラド IT \(srad.jp\)](#) ⇒ 10月2日
- ② [もちろん公式ではないが…要件を満たさない PC を Windows 11 にアップグレードするスクリプト【やじうま Watch】 - INTERNET Watch \(impress.co.jp\)](#) ⇒ 10月6日
- ③ [どうすればいい？ 最新パソコンで Windows 11「非対応」と判定されたときの対処方法 - OTONA LIFE | オトナライフ - OTONA LIFE | オトナライフ \(otona-life.com\)](#) ⇒ 6月30日

救済方法としては、Windows 11 の新規インストール以外はないかと思い、Web サイトの情報を参考に、新規インストール用ツール作成 (CD または USB メモリにインストール用 ISO ファイル作成) を試みていますが、かなり高度なテクニックであり苦戦をしているところです。また、残念ながら手元に動作確認用のパソコンが少なく、十分な検証が行えていないところであり、早くツールを完成させて、まずは本会会員の協力を得て、いずれのパソコンまで救済出来るか見極めてから、受講生のパソコンの整備を行います。

なお、整備に際しては、裏技を使用している関係上 Windows 11 が正常に動作しないことも考えられるために、現在の Windows 10 の SSD は手元に保管しておき、異常時に対応します。そして Windows 11 の環境整備には新たな SSD を用いて行います。そのため費用として 5 千円ほど必要ですが、費用をかけてでも希望される受講生を対象に整備を図りたいと思います。

また、Windows 11 に対して Microsoft 社はまだまだ流動的な面もあり「TMP 1.5」が搭載されているパソコンも Windows 11 の更改が可能となるのではないかと考えております。

現在の各講座の日程では、12 月後半の「第 5 章 ファイル管理」が始まりますが、日程を見直し少し余裕をもって来年の連休明けまでに対応します。基本日程として「相談サロン」の日程表をしめします。下図のアイコンをクリックして確認ください。



日程表 (相談サロン) .pdf

## Windows 11の Update に伴う事前確認について

令和3年10月3日  
講座総括担当（鎌田）

すでにご案内をしている通り10月5日（火）から Windows 11の Update が開始しますが、事前にインターネットで情報収集を行っているとしょッキングな話が出てきました。Windows 11に関する関連サイトは次の通りです

[新しい Windows 11 OS へのアップグレード | Microsoft](#)

Windows 10の Update の際は更新するパソコンのCPUの種類は問われませんでしたでしたが、今回の Windows 11の Update に際しては、インテル社のCPUで言えば基本的には**2017年（平成27年）1月6日以降の発売の第7世代以降のCPU**である必要があります。Windows 11の Update 対象可能なCPUは、下記のWebサイトに掲載されていますが、簡単に言えば、Core i7-7800X、Core i7-8086K、Core i7-9700、Core i7-10510U、Core i7-11370H 等のCPUです。

[Windows プロセッサ要件 Windows 11 サポートされているインテル プロセッサ | マイクロソフトドキュメント \(microsoft.com\)](#)

本会はこれまで最新のソフトウェア環境で講座を開催しており、皆さんのパソコンは、Windows 10 & Office 2019で整備をさせて頂いているところであり、今回の Windows 11の Update においても、Windows 11 (& Office 2021)に整備をしようと考えていましたが、皆さんのパソコンを考えると非常に難しいところであり、この8日（金）に理事会を開催して基本方針を意識合わせする予定です。いずれにしても、皆さんの今のパソコンを使用してどのような講座にするかの検討ですが、ポイントとなるのが、マイクロソフト社の Windows 10のサポートは2025年10月で終了です。

意識合わせに当たってより正確に皆さんのパソコン状況を確認させていただくために、お手数ですが、下記の操作をして頂き、**結果を8日午前9時までにご報告ください**。なお、操作が出来ない方は ZOOM で対応しますから、5日（火）=午前10時、6日（水）=午後4時、7日（木）=午前10時に六樹会（事務局）に入って下さい。よろしくお願いします。

### 1. 「PC 正常性チェックアプリ」のインストール

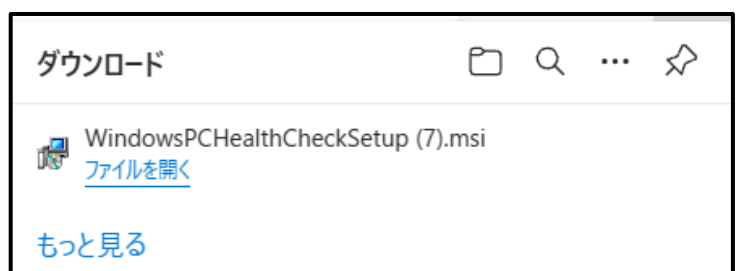
”コントロール”キーを押しながら下記のURLをクリックして、Web ページを開いてください。

<https://aka.ms/GetPCHealthCheckApp>

### 2. 「PC正常性チェックアプリ」のダウンロード

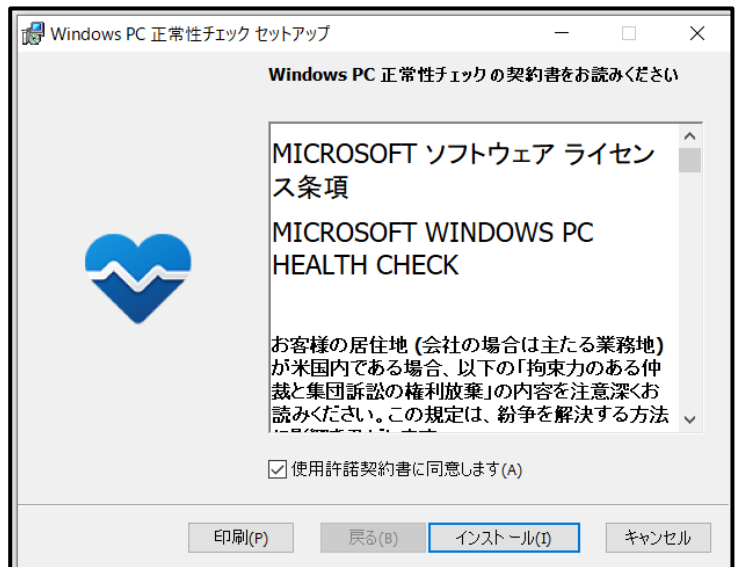
上記 Web ページを開くとパソコンによりませんが基本的にはパソコンの右上に右図の<<ダウンロード>>ウィンドウが表示されます。

青文字の「ファイルを開く」をクリックする。



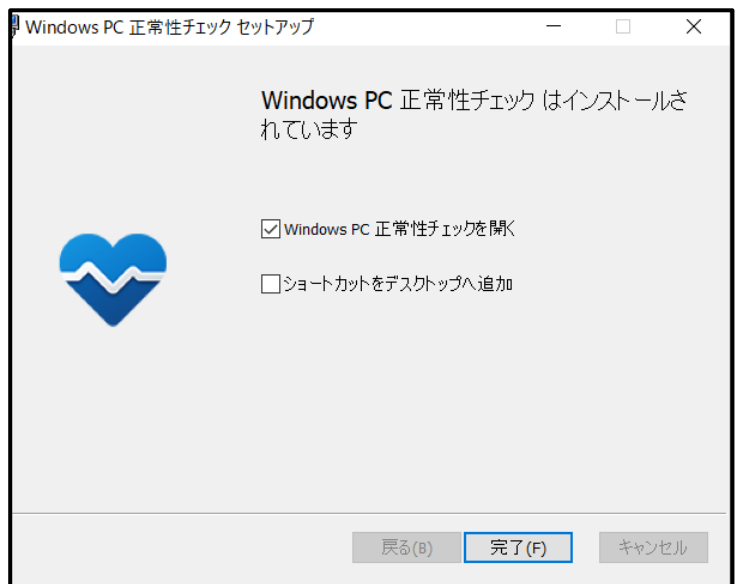
### 3. 「PC正常性チェックアプリ」のインストール

右図が表示されたら「使用許諾契約書に同意する」にチェックマークを付けて「インストールボタン」をクリックする。



### 4. 「PC正常性チェックアプリ」の開始

右図が表示されたら「完了ボタン」をクリックする。



### 5. PC正常性の確認

右図が表示されたら「今すぐチェック」をクリックする。



## 6. 「PC正常性チェックアプリ」の終了

右図が表示されたら「shipping ツールで白色部分を切り取ってメールに直接張り付けてお送りください。

なお、Shipping ツールのアイコンは下図の通りです。



白色部分の表示は、右図のいずれかです。

上の表示のパソコンは、問題なく Windows 11 の Update が出来ます。

下の表示のパソコンは、残念ながら単純には Windows 11 の Update は出来ませんが、何か抜け道があるようです。

いずれにしても8日の理事会の結果をお待ちください。

最後に、中央の白色部分のウィンドウを×ボタンで閉じて、<<PC正常性を一目で確認>>ウィンドウを閉じましょう。

お疲れさまでした。

